



2021年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月10日

上場会社名 鎌倉新書

上場取引所 東

コード番号 6184 URL <https://www.kamakura-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 小林史生

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 須藤諭史

TEL 0362623521

四半期報告書提出予定日 2020年12月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第3四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	2,284	4.2	59	90.0	61	89.5	35	92.1
2020年1月期第3四半期	2,383	32.5	592	13.0	579	13.5	440	62.1

(注) 包括利益 2021年1月期第3四半期 33百万円 (92.2%) 2020年1月期第3四半期 433百万円 (60.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	0.91	0.86
2020年1月期第3四半期	11.68	10.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	3,843	3,551	92.1
2020年1月期	3,884	3,511	90.0

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 3,539百万円 2020年1月期 3,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		0.00		3.00	3.00
2021年1月期		0.00			
2021年1月期(予想)					

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注2) 2021年1月期の1株当たり配当金については未定です。

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,390	3.9	265	66.9	265	66.6	170	73.4	4.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期3Q	38,781,600 株	2020年1月期	38,404,400 株
期末自己株式数	2021年1月期3Q	1,027 株	2020年1月期	1,027 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期3Q	38,651,896 株	2020年1月期3Q	37,723,923 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令されたことから個人消費や企業活動が制限され、景気が急速に悪化いたしました。緊急事態宣言解除後、徐々に経済活動が再開されつつも、国内外ともに依然として感染拡大は続いており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するライフエンディング市場におきましては、潜在的需要は人口動態を背景に年々増加すると推測され、「終活」の浸透が進み、ライフエンディングに対する社会的関心は日増しに高まりを見せております。しかしながら、仏壇仏具やお墓等におきましては、ユーザーの節約志向に加え、ユーザーの生活スタイルや価値観の多様化による購入商品の小型化・低価格化の傾向が継続しております。葬祭事業においても、葬儀規模の縮小や参列者の減少が急激に進み、単価は減少傾向が続いております。

このような事業環境の中、当社は相続事業を始めとした新規サービスの開拓、顧客情報一元化のためのシステム開発やSEO対策としてコンテンツの制作の強化等、数多くの施策を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,284,023千円（前年同期比4.2%減）、営業利益59,063千円（前年同期比90.0%減）、経常利益61,105千円（前年同期比89.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35,006千円（前年同期比92.1%減）となりました。

なお、当社はライフエンディング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は3,073,300千円（前連結会計年度末比52,949千円減）となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少134,147千円、売掛金の増加27,586千円及び未収還付法人税等の増加57,279千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は770,100千円（前連結会計年度末比12,040千円増）となりました。主な要因は、ソフトウェアの増加25,148千円、ソフトウェア仮勘定の増加18,668千円、敷金及び保証金の減少12,741千円、有形固定資産の減少12,259千円及び繰延税金資産の減少3,043千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は219,902千円（前連結会計年度末比122,710千円減）となりました。主な要因は、未払金の減少59,207千円及び未払法人税等の減少66,422千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は71,960千円（前連結会計年度末比41,380千円増）となりました。主な要因は長期借入金の増加38,606千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,551,538千円（前連結会計年度末比40,421千円増）となりました。主な要因は、資本金の増加61,544千円、資本剰余金の増加61,544千円及び利益剰余金の減少80,203千円であり、自己資本比率は92.1%であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では2020年9月10日に公開した連結業績予想から変更はありません。今後、新型コロナウイルス感染症の拡大により業績等に著しい変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,192,184	2,058,036
売掛金	852,099	879,686
製品	3,670	4,204
仕掛品	1,732	1,847
貯蔵品	594	585
前払費用	76,539	85,670
未収還付法人税等	-	57,279
その他	11,888	2,817
貸倒引当金	△12,461	△16,826
流動資産合計	3,126,249	3,073,300
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	206,717	199,627
構築物（純額）	2,933	2,823
工具、器具及び備品（純額）	52,096	48,847
船舶（純額）	7,365	5,585
その他	87	54
有形固定資産合計	269,198	256,938
無形固定資産		
ソフトウェア	187,880	213,028
ソフトウェア仮勘定	28,581	47,250
のれん	29,867	26,134
その他	202	202
無形固定資産合計	246,532	286,615
投資その他の資産		
投資有価証券	363	363
繰延税金資産	14,311	11,268
敷金及び保証金	226,095	213,354
その他	1,560	1,560
投資その他の資産合計	242,330	226,546
固定資産合計	758,060	770,100
資産合計	3,884,310	3,843,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	497	1,381
1年内返済予定の長期借入金	3,349	1,390
未払金	211,861	152,653
未払法人税等	66,557	135
未払消費税等	26,377	12,326
前受金	19,254	24,187
預り金	13,624	25,501
その他	1,090	2,326
流動負債合計	342,612	219,902
固定負債		
長期借入金	13,195	51,801
退職給付に係る負債	15,583	18,819
長期前受金	1,802	1,340
固定負債合計	30,580	71,960
負債合計	373,193	291,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,002	1,038,547
資本剰余金	937,002	998,547
利益剰余金	1,583,199	1,502,996
自己株式	△198	△198
株主資本合計	3,497,006	3,539,892
新株予約権	8,878	7,753
非支配株主持分	5,232	3,892
純資産合計	3,511,116	3,551,538
負債純資産合計	3,884,310	3,843,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)
売上高	2,383,061	2,284,023
売上原価	746,053	1,007,148
売上総利益	1,637,008	1,276,875
販売費及び一般管理費	1,044,329	1,217,811
営業利益	592,678	59,063
営業外収益		
受取利息	38	33
為替差益	2	-
受取立退料	-	2,100
その他	1,152	1,123
営業外収益合計	1,193	3,257
営業外費用		
支払利息	304	160
為替差損	-	939
保険解約損	8,906	-
調査費用	4,505	-
その他	809	116
営業外費用合計	14,526	1,215
経常利益	579,345	61,105
特別利益		
投資有価証券売却益	41,032	-
特別利益合計	41,032	-
特別損失		
投資有価証券評価損	10,361	-
固定資産除却損	11,542	11,608
特別損失合計	21,903	11,608
税金等調整前四半期純利益	598,473	49,496
法人税、住民税及び事業税	156,809	12,786
法人税等調整額	8,108	3,043
法人税等合計	164,917	15,829
四半期純利益	433,556	33,667
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,214	△1,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	440,771	35,006

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	433,556	33,667
四半期包括利益	433,556	33,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,771	35,006
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,214	△1,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、ライフエンディングサービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、不要不急の外出やイベントの自粛要請等により、お墓や仏壇の購入・お別れ会や海洋散骨の延期の影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の終息時期を正確に予測することは困難な状況ではありますが、今後徐々に回復していくものと想定しており、当第3四半期連結累計期間における固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積もりについては、この仮定を加味した予測数値により実施しております。